

タイトル:平成 29(2017)年度 教育セミナー(第 13 回)

日時:2017 年 9 月 14 日(木)~17 日(日)

場所:東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 3 階大会議室(303)

「イラン・イスラーム共和国における高等教育 — ジェンダー平等の観点から」

柳井 孝太(明治大学大学院 教養デザイン研究科)

2015 年度、2016 年度に引き続き、3 回連続の参加となりました。昨年度までは、セミナーや発表を聞くだけでしたが、今年度は思い切って受講生発表に申し込みました。今まで、発表を終えた方のお話を伺う機会が何度かありました。皆口を揃えて、「このセミナーでは、発表してなんぼ」という趣旨のことをおっしゃっていたのが印象的で、記憶に残っていました。

しかし、いざ発表の準備を始めると苦労の連続でした。私の所属する大学院は、学際的な研究科であり、イスラームを専攻する人はほとんどいません。その為、少人数のゼミ発表を行う機会があっても、数十人を相手にする発表はほとんど経験がありません。研究科全体の間接報告というものもありますが、15 分程度の短い時間に過ぎません。内容も、修士論文の進捗状況を報告するというもので、本格的な研究報告とは言えないものでした。

そのため、今回のセミナー発表は、私にとって初めての本格的な研究報告となりました。準備をするうえで、非常に参考になったのが過去の受講生発表のレジュメでした。発表された方々の姿を思い浮かべながら、レジュメに目を通すことで、少しずつ自分自身のレジュメが出来上がっていきました。しかしながら、私は発表時刻に遅刻するという失態を犯してしまいました。中々資料の仕上げが終わらず、自宅のプリンターで印刷を試みたのが失敗でした。数十人分の資料を印刷するには、予想以上の時間が必要でした。大勢の方々にご迷惑をおかけしてしまいました。休憩時間を調整することで、発表の時間を融通していただくことができたのは、本当に有難いことでした。何度感謝しても足りません。発表内容についても、今まで思いもつかなかった指摘を幾つもいただくことができ、本当に参考になりました。先生方からも個別に指導を頂くことができ、貴重なアドバイスを頂きました。

僭越ながら、来年度以降に参加をする方に向けて 3 つほどアドバイスをさせていただきたいと思います。1 つ目は、配布されたレジュメは、先生方のものはもちろん、受講生のものもしっかりと保存しておくことです。上記の通り、自分が発表する時に非常に参考になります。2 つ目は、細部にこだわりすぎず、とりあえずレジュメを仕上げることです。事務局の千葉さんに期日までにお願いすれば、資料を印刷して貰えます。期日までに完成していない場合でも、とりあえず暫定版の印刷をお願いするべきだと思います。今回のセミナーでも、資料の差し替えや、追加資料の配布がありました。最悪の場合、口頭での訂正でも構わないと思います。とにかく発表時間に遅れないことが肝要なので、私と同じ過ちを犯さないようにご注意ください。3 つ目は、受講生発表に必ず申し込むことです。博士課程に進学される方はもちろん、修士課程で終わられる方こそ、発表すべきだと思います。これだけの規模の人数、先生方に発表をする機会は、二度とないかもしれません。

最後に事務局の千葉様、AA 研の先生方に改めて御礼申し上げます。本当にお世話になりました。頂

いた助言を胸に、納得のいく修士論文が執筆できるように全力を尽くしてまいります。